

V 教育訓練

(教育訓練)

1 概 要

近年、災害の態様は、気候変動や社会経済の進展等に伴い複雑多様化・大規模化の傾向にあり、消防機関の業務は、このような状況に適切に対応するため、警防、予防、救急、救助等あらゆる活動分野でその量・範囲が増加・拡大する中、専門的かつ高度な知識や技術が求められている。

また、平成23年3月11日に発生し、地震、津波により甚大な被害が発生した東日本大震災の教訓等から、人々の消防に対する期待は非常に大きなものとなってきている。

こうした状況及び要請を踏まえ、消防学校では、消防職・団員に対し、その使命・責務を正しく認識させることはもとより、業務遂行上必要となる知識及び技術の修得を図るため、国の教育指標である「消防学校の教育訓練の基準」に基づき、多様な教育訓練を実施している。

また、女性防火クラブや自衛消防隊など自主防災組織の入校も積極的に受け入れ、防災関係の講義をはじめ、消火設備・器材の取扱い、災害模擬体験等を通じ、防火防災思想の普及を図っている。

なお、消防の幹部・指導者の養成を目的として必要な知識、技術、管理能力等の修得を図るための教育訓練を実施している消防大学校に対し、毎年県下から十数名入校している。

2 消防学校の教育訓練

(1)平成24年度教育訓練概要

県下消防職団員に対し、「精神教育」「学科教育」「実科教育」を三位一体として実施した。

特に消防人として必要な、人格の向上、学術技能の修得、気力・体力の錬成、規律の保持、協力精神の涵養を図るとともに、訓練施設や資機材を十分活用しながら複雑多様化する災害に即応できる高度の技術を持った近代消防人の養成に努めた。

なお、その他各防災関係団体に対しても幅広い防火防災教育訓練を実施した。

ア 消防職員の教育訓練

新規採用職員を対象とした初任教育、現任の職員に専門的知識・技術を教授する専科教育、幹部職員に対する幹部教育等について、前年の実績を踏まえ一層の教育内容の充実を図った。

イ 消防団員の教育訓練

新入団員から幹部団員まで、それぞれに応じた教育訓練を実施した。

(2)機 構

職 名	校 長	副 校 長	教 務 係 長	主 幹	副 主 幹	主 任	計	その他職員		合 計
								嘱 託 職	臨 時 職	
人 員	1	1	1	2	4 (消防 (局) 本 部からの 派遣 4)	1	10	5 (内舎監2 専任講師1 医師1 その他1)	1	16

(3) 施設 (寮室収容人員100名)

施設	区分	構造	延床面積 (m ²)	摘 要
敷	地		22,938	
施 設	本館	RC (3階)	1,241	1階 事務室、機材室、教官室、休養室、トイレ(男女)
				2階 第2教室、理化学教室、図書室、準備室、トイレ
				3階 第1教室、視聴覚教室、トイレ
	寄宿棟 (北寮)	RC (3階)	1,486	1階 寮直室、舎監室、談話室、食堂、浴室、 救急実技室、洗面所、トイレ
				2階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
				3階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
	寄宿棟 (南寮)	RC (3階)	1,544	1階 大教室、特別会議室、浴室(男女)、トイレ(男女) 洗面所、倉庫、機械室、寮室1室(4人×1室)
				2階 寮室4室(4人×4室)、救急実技室、談話室、 洗面所、トイレ、倉庫
				3階 寮室8室(4人×8室)、茶室、洗面所、トイレ、 倉庫
	屋内訓練場	RC (1階)	868	管理室、脱衣室、機械器具室、講師室、ステージ、トイレ
	燃焼実験室	RC (一部2階)	280	スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、粉末消火設備、 二酸化炭素消火設備、泡消火設備、補助訓練塔併設
	訓練塔	RC (8階地下1階)	457	煙道付 (17m・地下1階)
	補助訓練塔	S (2階)	122	ホース乾燥設備併設
	煙道	床板張	29	
水難救助 訓練用施設	RC	400	25m×7コース、洗眼装置、滅菌装置一式、トイレ	
車庫	S (1階)	403	機械実習室、高圧空気充填室、エアコンプレッサー設備	
機械室	RC (1階)	72	給排水用設備一式、冷暖房設備一式	
屋外訓練場	芝張等	8,000	放水標的、照明設備、洗車場、自家発電設備	
駐輪場	S (1階)	29	14.7m×2m 30台分	
その他		197	LPG倉庫、合併処理槽、ポンプ室、キュービクル2 基、渡り廊下等、浄化槽、井戸、屋外便所	

(4)平成24年度教育訓練実施状況(1)

平成25年3月31日現在

教育区分	月												延日数 実日数(日)	教育時間 (時間)	摘要 期・人数		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
初任教育		9(10日入校式)									14				159 110	803	65期 99人
職員教育	初任科														12	70	40期 26人
	警防科														12	70	34期 24人
	予防査察科														9	49	34期 23人
	危険物科														12	70	34期 28人
	火災調査科														56	266	18期 69人
	救急科														29	140	40期 24人
	救助科														20		
	上級幹部科														3	21	3期 20人
	無線通信課程														2	14	42期 17人
	救急隊長講習														5	35	4期 24人
合計														299 215	1,538	352人	

平成24年3月31日現在

下段：人数

上段：日数・(時間)

平成23年度教育訓練実施状況(2)

教育区分	月												合計	摘要			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
団員教育	基礎教育	4 (24) 110													4 (24) 110	2日×2回	
	専科教育		4 (24) 89	2 (12) 55											6 (36) 144	2日×3回	
	幹部教育			4 (24) 99											4 (24) 99	2日×2回	
	ラッパ科								1 (6) 29						1 (6) 29	1日×1回	
	特別								1 (6) 30						1 (6) 30	2日×1回	
	指導員研修																
	一日入校	1 (5) 29	3 (12) 43	8 (32) 202	21 (84) 443	24 (96) 509									57 (229) 1,226	27回(隊)	
	現地教育		1 (6) 384	1 (6) 80					7 (14) 140						11 (30) 644	11回	
	計	5 (29) 139	8 (42) 516	15 (74) 436	21 (84) 443	24 (96) 509	9 (26) 199	2 (4) 40	2 (4) 52						84 (355) 2,282		
	関係団体	女性防火クラブ		2 (4) 47	2 (4) 103											9 (18) 270	7団体
婦人消防隊															1 (5) 36	1団体	
防火管理者															2 (11) 109	5団体	
その他の団体			2 (4) 47	2 (4) 103					1 (5) 19						12 (34) 415		
計								1 (5) 19									
合計	5 (29) 139	10 (46) 563	17 (78) 539	21 (84) 443	24 (96) 509	10 (31) 218	4 (8) 92	4 (15) 178	1 (2) 16					96 (389) 2,697			

(5) 平成24年度消防本部別入校者数(職員教育)

平成25年3月31日現在

課程 科 期	初任教育	専 科 教 育				育			幹部教育			特別教育			計	
		警防科 40期	予 防 査察科 34期	危険物科 34期	火 災 調査科 34期	救急科 18期	救助科 40期	上 級 幹部科 3期	無線通信 課 42期	救急隊長 講 習 4期						
消防本部(局)	65期															
前橋市	11	4	3	4	5	8	4	4	2	3	3					47
高崎市等広域	21(2)	5	5	4	5	12	4	4	4	4	4					68(2)
桐生市	8	1	1	1	2	4	2	2	1	-	1					21
伊勢崎市	12	3	2	2	2	8	2	2	2	2	2					37
太田市	2(1)	5	5	4	5	5	4	4	4	1	4					39(1)
利根沼田広域	5	1	1	1	2	4	2	2	1	-	-					17
館林地区	8	2	2	2	2	7	2	2	2	2	2					31
渋川広域	15(1)	1	1	1	1	10(1)	1	1	1	-	1					32(2)
多野藤岡広域	4	2	2	2	2	5	2	1	1	2	2					23
富岡甘楽広域	6(1)	1	1	1	1	3	1	1	1	-	1					16(1)
吾妻広域	7	1	1	1	1	3	1	1	1	-	2					18
計	99(5)	26	24	23	28	69(1)	24	24	20	14	22					349(6)
										※ 17						※ 419(7)

※ 消防職員以外の入校者(伊勢崎市消防団2名、太田市役所1名)を含む。

注 ()内は女性数(内数)

3 消防大学校の教育訓練

(1) 教育訓練目的

部	学 科	教 育 訓 練 目 的
総 合	幹 部 科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。
	上級幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。
教 育	新任消防長・学校長科	新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に習得させる。
	消防団長科	消防団の上級幹部に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。
専 科 教 育	警防科	警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	予防科	予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	救急科	救急業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救急業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救助業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	火災調査科	火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の監督者及び指導者としての資質を向上させる。
	危険物科	危険物保安業務に関する高度の知識及び技術を専門的に習得させ、危険物保安業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	新任教官科	新任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、その職に必要な知識及び能力を専門的に習得させる。

科	コース	教 育 訓 練 目 的
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	高度救助・特別高度救助コース	高度救助隊、特別高度救助隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	NBCコース	NBC 災害対応要員等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	航空隊長コース	消防・防災航空隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
危機防災教育科	トップマネジメントコース	地方公共団体の首長等に対し、大規模災害発生時における対応能力を習得させる。
	危機管理国民保護コース	地方公共団体の国民保護担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	自主防災組織育成コース	自主防災組織の育成担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
違反是正特別講習		査察、違反処理是正業務に携わる者に対し、その業務に必要な実務的な知識及び能力を修得させる。

(2)平成24年度消防大学校入校状況

	学 科	期・回	入校人数
総合教育	幹部科	30	1
		31	0
		32	0
	上級幹部科	76	0
	新任消防長 ・学校長科	12	0
		13	0
	消防団長科	61	1
		62	2
専科教育	警防科	91	1
		92	1
	予防科	92	1
		93	2
	救急科	74	1
	救助科	65	1
		66	1
	火災調査科	23	1
		24	1
	危険物科	7	1
	新任教官科	6	3
合 計			18

	コース	期・回	入校人数
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	7	1
		8	1
	高度・特別高度救助コース	2	1
	NCBコース	2	2
	航空隊長コース	9	0
10		1	
防災危機管理教育科	トップマネジメントコース	14	1
	危機管理・国民保護コース	2	1
	自主防災組織育成コース	8	0
合 計			8

(3) 年度別・消防本部別消防大学校総合教育・専科教育入校状況

	平成 20					平成 21					平成 22					平成 23					平成 24					過去5 力年計										
	幹部 部科	上級 幹部 科	消防団 長科	警予防 科	救急 科	新 任 教 官 科	幹部 部科	上級 幹部 科	消防団 長科	警予防 科	救急 科	火災調 査科	危 険 物 科	新 任 教 官 科	幹部 部科	上級 幹部 科	消防団 長科	警予防 科	救急 科	火災調 査科	危 険 物 科	新 任 教 官 科	幹部 部科	上級 幹部 科	消防団 長科	警予防 科	救急 科	火災調 査科	危 険 物 科	新 任 教 官 科						
前橋市	1						1				1			1									0	2	2	1	0	0	1	4	0	0	11			
高崎市等																							0	0	0	0	0	2	2	1	2	1	1	10		
桐生市						1																	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3			
伊勢崎市																							0	3	0	0	0	1	2	1	1	2	0	0	10	
太田市																							0	3	0	0	1	2	1	1	3	4	2	18		
利根沼田																							0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
館林地区																							0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	
消防本部																							0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3		
渋川広域																							0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4	
消防本部																							0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	3	
多野藤岡																							0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	
消防本部																							0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
富岡甘藷																							0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
消防本部																							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吾妻広域																							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
消防本部																							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
消防学校																							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市町村																							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	4	0	1	2	1	1	3	0	1	3	0	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	5	0	1	0	2	1	1	2	4	0	1	3		
																							1	0	0	3	2	3	1	2	2	1	3	12		
																							3	1	0	3	2	3	1	2	2	1	3	88		

